

授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：心の発達ゼミ ILAS Seminar :Seminar on Mental Development			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 船曳 康子		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール
開講年度・ 開講期	2018・前期	受講定員 (1回生定員)	10 (10) 人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	月5	教室	総合館南棟216			使用言語	日本語
キーワード	コミュニケーション / 発達障害 / 心の支援 / 人格形成 / 性格						
(総合人間学部の学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。)							
[授業の概要・目的]							
<p>人のこころの状態は、現在の環境のみならず、生まれながらの性格、幼少期からの環境、育ち、経験など様々な要因の影響を受けて成り立っている。つまり、現在の心理状態を把握するには、非常に複雑な背景があることを認識する必要がある。</p> <p>本授業では、乳幼児期、児童期、思春期、成人期、老年期など各ライフステージにおけるこころの特徴を踏まえて、個性に応じた精神面の生涯発達について学び、さらに社会的環境と合わせて、メンタルヘルスの維持やこころの支援のあり方についても学習する。加えて、自身の経験にも振り返りながら、多様な人、背景、考え方があることを幅広く認識し、周囲への心理的な支援の土台を築くことを目的とする。</p>							
[到達目標]							
<p>ゼミのメンバーとの建設的な意見交換を通して、人のこころは生来的な性格(特性)に種々の環境による影響を受けて発達し、パーソナリティが形成されていくこと、また、そのパーソナリティは、立場や期待度によって見え方が異なることを学ぶ。さらに、各ライフステージにおける多くの人に共通する点と異なる点について理解する。それらを通して、それぞれの可能性と限界を知ること、実生活でのトラブルを未然に防ぎ、必要時には周囲への配慮や適切な支援を行うための見識を養う。</p>							
[授業計画と内容]							
<p>前半は、教員から、以下のような内容の話題提供を行い、グループディスカッションを行う。</p> <p>代表的な心理学的支援方法 地域連携の意義 良好な関係性を維持するコミュニケーション方法 プライバシーへの配慮 支援者支援 メンタルヘルスの維持方法</p> <p>後半には、学生から関連する内容の話題提供を募る。 提案されたテーマに対して、メンバーは建設的な意見交換を行い、教員はファシリテートをしながら、関連する知識や情報の提供や紹介、また助言を行う。 特に、時事問題、報道などから積極的に取り上げ、現在起こっている未解決の事柄について、メンバーで話し合い、解決方法や支援方法を探っていく。 発表内容の相談があれば対応する。</p>							
ILASセミナー：心の発達ゼミ(2)へ続く							

ILASセミナー：心の発達ゼミ(2)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点及び達成度]

出席状況と議論への参加状況の総合評価。詳しくは授業中に説明する。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学習(予習・復習)等]

特に予習の必要はないが、日頃から、時事問題について目を通しておくとよい。

[その他(オフィスアワー等)]